

要 点 録

会議の名称	第1回田村駅周辺整備基本構想推進会議
開催日時	平成29年5月16日(火)午後1時00分～午後2時45分
出席者	仁連 孝昭 滋賀県立大学 名誉教授 綺田 新 田村自治会 自治会長 辻村 忠嗣 田村町まちづくり委員会 委員長 畑下 嘉之 社会福祉法人青祥会 理事長 松本 秀章 滋賀文教短期大学 副学長 若林 浩文 長浜バイオ大学 理事長 伊藤 寿彦 六荘地域づくり協議会 総務部長 西島 照毅 滋賀県長浜土木事務所 所長
欠席者	井 経子 社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長 川崎 他家廣 長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役 本田 智見 一般社団法人長浜青年会議所 新湖北創造委員会 副委員長 (敬称略)
事務局(長浜市)	長浜市都市建設部:米澤部長 中川技監 長浜市都市建設部都市計画課田村駅周辺整備室:嶋田課長兼室長 塚田副参事 長浜市都市建設部都市計画課:二宮主査
会議概要	1 あいさつ 長浜市 藤井市長 2 参加者紹介 仁連氏をアドバイザーとしてお願いしたことを報告 各参加者自己紹介 3 会議の公開について 会議を公開とすることについて決定 4 議事 ① 田村駅周辺整備基本構想推進会議について - 資料に基づいて説明 - ② 田村駅周辺整備基本計画の方向について - 資料に基づいて説明 - ③ 主な質疑、意見等(・:参加者、→:事務局) ・ 議事録の公開時期はいつですか。また会議の資料は公開してよろしいですか。基本計画(事務局案)について、田村駅乗降客数 3,000 人/日を目指すのですか。駅の改築に伴って長浜南部

という位置づけでどこまで整備するのですか。

→議事録の公開は出来るだけ速やかに出したい。資料の公開は問題ありません。また、3,000人/日は目標ではなく、駅舎を整備する補助等が有利につく要件です。長浜南部地域の開発について、基本構想では市街化区域よりも広いエリアを想定しています。

・田村駅乗降客数のメインは多分バイオ大学の学生と思われます。田村駅周辺の住民がどの範囲で田村駅を利用されていますか。

→現在把握できていない状況です。

・長浜近辺にいる自動車通勤の職員に JR で通ってほしいと働きかけることよって、最低の乗降者数3,000人/日に協力できるかなと思います。学生を導入するのはこれ以上難しいと思う。

→乗降者数3,000人/日の一つの目標として、キャンペーン的にやっていくことも考えている。その時は地域ぐるみ市民ぐるみで取り組みをしていかないといけない。

・高校生などの送迎は、長浜駅よりも田村駅に送っていると聞いているが、数字としては不明です。また、ロータリーがしっかり整備されていないと混雑します。

・田村駅は非常に由緒があり、歴史のある駅。地元の田村駅にかける思いは大きいと思っています。田村駅の改修は絶対的に先にさせていただきたい。

・乗降客数3,000人/日ですけれども、事務局としての考えはありますか。

→乗車数1,500人/日に対して1,350人/日ほどが現状です。平成28年度は、平成27年度から比べると微増という状況でした。推進会議でキャンペーンを行う等いろいろなことをして乗降者数を増やしていく必要があると改めて感じています。

・田村駅駐車場が満杯なので、駐車場を整備することが必要なのかもしれないですが、駐車場候補地が結構広いので、まちづくりとしてはもったいない。例えば、ここで住宅地を作ろうとするならば、どれくらい建てられますか。

→今のところ具体の計画はございません。土地の利用については地元の意見をしっかり聞きながらその整備手法についても考えていきます。

・駅の利用者数を増やすというところで、どれだけ貢献できるかわからないですが、利用者数を増やす運動をする一方で、例えば街灯を設置するとか、待合場所を設けるとかがあれば、積極的に学生へ呼びかけができるので検討いただきたい。

→長浜南部全体をどういうふうにしていくかという中で田村駅をどう位置づけるか。整備が先なのか後なのかは、同時並行的にいくと思います。推進会議では今年度基本計画を作るつもりですが、今年度で終わるということではなくて、長い意味で計画を見届けていただきたいと思っています。市としてもそういう姿勢で「たちまちやること」「長い目で考えること」両方でやっていきたいと思っています。

・ただ単に駅周辺を整備するだけでなく、長浜市の文化の起点をどういう形で形成をしていくかというような話がこれまで様々な形で出てきました。平成31年度に田村駅の改修ができれば、その周辺をどう作り上げていくか。平成31年くらいに田村駅を改築するためにはどういう手

法で進めていけばいいのか。もともと田村駅周辺の考え方は人口流出のダムをそこで作っていかうというものです。長浜市の人口の流出をここで止めるという目的があります。住宅地を含めてどう作っていくかということ。地元の方や地権者の絶対的なご協力があって初めて出来上がっていくので、住民のみなさんの理解を市の方からも積極的に働きかけをされて理解を得てみんなで盛り上がった形で田村駅の改修が地域の活性化にというふうにやっていただければありがたいと思います。その辺を十分調整いただいてやっていただければと思います。

- ・たぶんこの周辺の開発を考えると段階的にしかいかないと思っています。今は田村駅を利用している人は非常に少ない。そういう段階で出来ることと、もう少しここに人が集まってきた段階では違ってきます。段階的にだんだんステップアップしていくような計画を作っていないと、これができたら次にいく。そういう計画にしないといけない。

例えば、駅の利用者をもっと増やして長浜市民が田村駅をもう少し生活の範囲に位置づけられるようにするためには何をしたらいいか、関心が増えてここに人が集まってきたら次どういう開発ができるか、青い線でラッチしている地域は、畑地で多くの地権者の方がおられるということですが、地権者がまとまって開発しようとするような、この地域をどうするかというイメージがありまして、またその土地を購入する人がそれだけいるということが必要になってきますから、両方から適切な整備ができればその次にこの地域をもう少し活力のある地域として取り組むことが考えられます。段階をふんでやっていかないと最初から大きなことを考えてもできません。大きなことが実現できるように段階をふんだ計画にしていかなければと思っています。今、市場も田村地域とあまり関係がないです。卸売市場ですから、この地域と関係のない市場じゃなくてやっぱり関係のある市場にするにはどうしたらいいのか、今日、川崎さんは欠席ですけれども、一緒に考えるということがいいのではないかと思いますし、畑下先生の医療機関にプラスになるような形で将来考えられることもぜひ考えていただければありがたいと思います。それぞれいろんな立派な施設があるわけですが、それぞれバラバラになっていて街になっていない。そういう要素なくして街として発展性のある地域にしていくということが大事なかなと思います。

- ・ターゲットは当然子育て世代になると思いますが、それはその人たちを田村駅周辺にできる限り住んでもらおうという意図で言っておられるのか、そういう人たちをもっと広い円の中に住んでもらって、田村駅で賑わいを作ろうと考えておられるのか、これはどちらでしょうか。
- ・長期的には後者ですね。
- ・そうなる別住宅地をもってこようというだけの話にならないと思いますし、そういう広い円の中でどうやって若い世代を呼んでくるかという視点を重点的に突っ込んでいけばいいとなると駅周辺の賑わいをどうするか、そちらの方が優先かなと思います。

→今、基本計画の中で駅に近い部分の空地として、青の斜線を引いているところについては、お示ししている部分では一団の土地というふうには書かせてもらっているだけです。土地利用については、必ずしも住宅地だけを想定するのではなくて、土地利用というのは当然所有者がおられることですし、所有者もふまえた整理をした上で、どういうふうを活用していくかということをしっかり議論した上で、一団の土地という今の状況を解約することなく、田村駅周辺整備につなげていける手法をなんとか考えつつ、それを計画に盛り込んでいければと思っています。行政的な取り組みも含めてですが、地域のみなさんと一緒に活用については

考えていきたいと思っています。

- 新設都市計画道路は一応構想的にここに整備をしようという感じで作っておられるのですか。
→道路の拡幅をふまえた都市計画街路事業ということです。どちらも行き止まっていますが、北へ延びるという話をこの会議の中で具体的にしていく必要があると思っています。この南端については、田村駅に至るというイメージで書いているものです。さらに南に延びていきますと広い市道がありますが、ちょうど駅のアンダーと近い関係で交通的な整理もしていけないといけないという認識を持っています。いずれにしても、今この計画はごくごく一部を書かせていただいたものなので、北にどう伸びていくのか道路の周辺はどうなるのかということをしっかり整理しておく必要があると考えています。

- 部分的な道路を見せるだけではなくて、全体の流れとして構想的なものが出てきてその全体が見えてくる。特に道路というのは結構大きな基幹の芯柱だと思うので、そのあたりをどういう形で見えていくのかと思うので、それにとまって周辺をどういう形で整備していくかが大事な考えだと思います。

→現在お示しさせていただいています基本計画の今後の展開ですが、街路と書いた道路の部分については、もう少し北に延ばしてどういうふうにつなげるのかということを含めた計画づくりをしていきたいと思っています。どれだけこの計画を広げていくかという部分はしっかり議論していくべきところで、やはり最初の説明にもありましたが、行政が関わる大きなハード事業の部分もあれば、地域の方も一緒になって土地を活用する事業であるとか、まちの中にある細い道路を広げていくとか、そういった部分の取り組みも基本計画の中で一定示していきたいと思っています。それをどこまで盛り込んでいくのかということについては、それぞれの役割をどういうふうに整理して進めていくことが最も望ましいのか、そういった話の展開も基本計画の中には必要と思っています。

ぜひ、今言いましたようなそれぞれの役割についても一定この会議の中で触れていただければと思っています。特にそういった部分は、田村のまちづくり委員会であるとか自治会の方とも密接に関わる場所ですので、ご意見をいただけたらと思います。長浜南部をつなぐ基幹道路をどうもってくるかというイメージが多分大事になっていくと思います。それをこれから作っていくわけですが、田村駅につなぐ道としてはまずここです。これをどう展開していくか。長浜南部の全体の中でどう位置付けていくかということです。

- 会議の最終ゴールですが、最初の方で絵を見せられるということでしたが、線引きをされるのがこの会議ではないのですか。

→最終的には、例えば鳥瞰図であるとか模型であるとか、そういったものでお示しをしたいと思っています。民と行政の線引きを示すために作るものではなくて、それぞれが融合したまちづくりの結果がこういうふうになりますよというような絵をもって基本計画のあがりに行っていきます。それぞれが役割を持ちながら、今後の田村駅周辺をわかりやすくするための絵を作っていきたいと考えています。

- 駐車場はどうやって増やしていくのかな。そのへんの部分はハードもちょっといるのかなという思いもしました。

- ・同じ話になりますけども、駐車場は不足です。また、一番心配している虫食い開発。進みつつあることを危惧しています。
 - ・この基本構想は、地主さんのこともあるでしょうが、あの絵を中心としてなんかこう理想的なあれもこれもというものを書かしてもらって、当面としては駐車場の問題とかそれだけじゃないと思いますけど、全般的なことで、出来るようなことを作っていただければと思います。
 - ・橋上化なりバリアフリー化する時に湖西線の駅の乗降客はこれほどありません。3,000人/日というのはなかなか厳しい。定かではないですが2,000人/日ちょっとでも可能では。駅を利用しやすいようにしたいという一つの目的があるのなら湖西線側の駅も調べていただけたらと思います。
- 今日の貴重なご意見をいただいた部分についてはとりまとめさせていただきまして、議事録としてもこれからアップしていきたいと思います。第2回目についても出来るだけ具体の資料をもって委員のみなさんにこれからの計画づくりについての具体化を示していきたいと思っています。

5 その他

第2回推進会議は、平成29年7月頃を予定している。

(詳細の日程については後日調整)